

県内初 大垣共立銀行から



小栗宣高支店長(中央左)から認定証を受け取る大石康人社長(同右)ら

西尾市法光寺町の総合建設業「丸洋建設」(大石康人社長)は、岐阜県大垣市の大垣共立銀行(OKB、林敬治頭取)から「サステナビリティ・リンク・ローン(SLL)」として、5千万円の融資を受けた。第三者機関による厳しい審査を経たもので、県内では別の1社と共に初めてとなる。同社がSDGsに関連する目標を設定し、融資資金を活用しながら温室効果ガス排出量の削減を図っていく。

温室効果ガス 37.8%減へ

丸洋建設

法光寺町

にSDGs融資

三河新報

発行所 三河新報社

西尾市花ノ木町2-15

TEL(56)3036

FAX(57)0003

〒445-0852

Eメール:shinpo@katch.ne.jp

日刊(月・第3日曜・祝翌日付は除く)

OTICS

(株)

オティックス

本社・西尾市中畑町浜田下10

人と夢をつくる創造技術企業

3月11日(火)先勝

日の出=6:07

日の入=17:57

満潮=5:04 16:26

干潮=10:51 22:54

(三河湾標準)

“何の日”

☆コラム

1751年、英国の新聞に世界で初めてコラムの連載が始まった

「先進的な取り組み評価」OKB

大石「目標設定は社会的責任」

丸洋建設は1955(昭和30)年創業の総合建設会社。経営理念として「業を通して人に笑顔になってもらえる価値を創造し社会に貢献する」を掲げる。土木工事および建築工事を幅広く手がけるほか、2022年から住宅地の開発・造成を軸とした不動産販売事業も展開している。

21年に策定したSDGs宣言の下、持続可能な社会への貢献と自社の成長の両立を図っている。「雇用」「職場環境の整備」「地域とパートナーシップ」「環境対策」の四つの観点から具体的な取り組みを進めている。

従業員のスキルアップを支援するための制度設計や適材適所の人材配置に注力し、一人一人が能力を最大限発揮できる職場づくりを目指している。

SLLは、SDGs(持続可能な開発目標)やESG(環境、社会、ガバナンス)に関する目標値を定め、その達成度合いに応じて金利を引き下げる融資商品。ローン市場協会などが公表している「サステナビリティ・リンク・ローン原則」への準拠について、外部機関の評価取得を求めることになっている。

22年には、環境対策の中でも特にカーボンニュートラル実現に向けた取り組みに注力すべく中小企業版SBTの認証を取得。全社的な意識醸成を図りながら排出量削減施策を着実に推進している。

こうした先進的な取り組みを評価したOKBは昨年5月ごろ、同社にSLLを提案。両者の実務者間で協議を行い、温室効果ガスの排出削減率の目標算出(KPI)や目標設定(SPT)など、目標達成手段などをまとめ先進的な取り組みを

社会への貢献と自社の成長の両立を図っている。「雇用」「職場環境の整備」「地域とパートナーシップ」「環境対策」の四つの観点から具体的な取り組みを進めている。

それによると、同社では30年までに温室効果ガス排出量を、21年比で37.8%削減するとして

いる。そのため、最大の排出源であるガソリン車両を順次、ハイブリッド車や電気自動車などに切り替えるとともに、建機の軽油のバイオディーゼル燃料化や、本社電力の太陽光利用も検討していく。

同社はこれを第三者機関である「格付投資情報センター」(東京都千代田区)に提出し、審査を求めた結果、SLL原則に適合しているとされた。これを経て今年2月28日、同社に対して愛知県内第1号となるSLLが実行された。

OKB安城支店の小栗宣高支店長、竹下嘉範次長、実務担当者の竹川恭平さんが今月6日、同社を訪れ、大石社長と実務担当者、尾崎雄一郎総務部長に認定証を手渡した。小栗支店長は「愛知県第1号というところに大きな価値がある。建設業の会社がSDGsに関心を持って先進的な取り組みをし

ていたので、SLLの実行に向けても協力をいただいた。今後、同社と丸洋建設のSDGsの取り組みを後押ししていきたい」と話した。

大石社長は「SDGsに関しては明確な目標を設定しづらい面がある。そうした中でも、温室効果ガス排出量の目標を設定していくことが大事だと考えている。企業の社会的責任にもつながるため、SLLを受ける価値は高い。愛知県内第1号は光栄だし、今後、こう

に関しても明確な目標を設定しづらい面がある。そうした中でも、温室効果ガス排出量の目標を設定していくことが大事だと考えている。企業の社会的責任にもつながるため、SLLを受ける価値は高い。愛知県内第1号は光栄だし、今後、こう

風穴

西尾市楠村町にある本澄寺の柳野明仁住職

が11日、米国ニューヨークで聖徳太子に関する絵解きを行う。聖徳太子が十七条憲法で

「和をもって貴しとなす」という言葉を説いた「和をもって貴しとなす」という言葉が、日本人の精神的支柱であることを紹介する。現代社会では、その言葉の重要性を改めて問う必要がある。高

さを手に入れた日

本社会は、いつしか個人の利益を優先する風潮がまん延し、「和

の精神が失われつつある。西尾市でも文化協会、趣味サークル、老人クラブなど、人々の心の豊かさを支えてきた団体が会員減少に悩んでいる現状は、その象徴と言えるだろう。

人々が集い、助け合う意識が薄れ、個々が孤立していく社会は、災害時の防災対策においても大きな懸念材料となる。3月11日とい

つある。一方、全国的な傾向ではあるが西尾市でも、大規模災害時に人々を救うべき消防団の団員不足が深刻な状況となっている。では、どうすれば「和

の精神を再構築し、防災対策に生かすことができるのだろうか。まず、地域社会における交流の場を創出する必要がある。町内会や消防団などが中心となり、世代間交流を促進するイベントやワークショップを開催するこ

る。西尾市でも文化協会、趣味サークル、老人クラブなど、人々の心の豊かさを支えてきた団体が会員減少に悩んでいる現状は、その象徴と言えるだろう。

人々が集い、助け合う意識が薄れ、個々が孤立していく社会は、災害時の防災対策においても大きな懸念材料となる。3月11日とい

つある。一方、全国的な傾向ではあるが西尾市でも、大規模災害時に人々を救うべき消防団の団員不足が深刻な状況となっている。では、どうすれば「和